

令和8年度

鳥取大学大学院医学系研究科

医科学専攻

博士後期課程 学生募集要項

鳥 取 大 学

鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻博士後期課程教育に関する三つの基本方針

医科学専攻の理念と教育目標

医科学専攻では、医療の質を向上させ、医療現場のみならず地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材の養成を目指す。

その理念を達成するため、以下の教育目標を実践する。

1. 心と科学の両面を理解できる基盤的知識の修得
2. 医学的知識や研究・医療倫理の修得
3. 分野横断的かつ俯瞰的な知識に根差した思考力の涵養
4. 医科学の高度化に貢献できる研究力の涵養

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医科学専攻博士後期課程では、基礎医学の研究、疾患治療や健康に関する基盤研究、トランスレーショナル医学やイノベーションの創出を独立して行い、基礎医学や保健学の教員、企業等の研究者、医科学関連の起業家等を育成するという教育目的を踏まえ、学生が、所定の科目を履修し、所定の単位を修得して論文審査及び試験に合格し、次の能力を身につけたときに博士（医科学、保健学）の学位を授与します。

1. 豊かな学識を有し、生命科学、機能再生医科学、保健学等の医科学分野の高度な専門的知識・技能を身につけ、自立した研究者としての独創的な研究遂行能力または高度な専門性が求められる職業に従事する卓越した研究能力を有している。
2. 社会的責任感に基づく高い倫理観を有し、教育、研究、医療、産業における指導と管理の役割を担い、人類、地域及び学術の発展に貢献することができる。
3. 医学や医科学関連分野の基礎と応用を俯瞰する広い視野を持ち、国際社会や地域が直面する様々な問題に対処できる専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を有し、専攻分野の研究、実践、開発を国際的に先導することができる。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医科学専攻博士後期課程では、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程・教育内容

基盤的医学知識の修得と医科学研究における心と科学の両面の理解のための基盤的教育科目、医科学領域の豊かな学識や技能を習得するためのスペシャリスト教育科目・アドバンス教育科目を設け、体系的な教育課程を編成します。

生命科学、機能再生医科学、保健学等を含む医科学領域で重要となる社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけるための科目を配置します。

実践的演習や特別研究により、医科学関連領域を俯瞰的に捉える広い視野や課題の発見や問題解決を国際的に先導できる能力を身につけるための科目を配置します。

2. 教育方法

講義、演習等を体系的に組み合わせた授業及び学内外の先端研究者による講義・セミナーを通じて高度な専門知識を習得します。

専門性の高い複数教員の研究指導により、専門的かつ高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を備え、自立して独創的研究を遂行できる能力を育成します。

3. 学修成果の評価

研究科の定める成績評価基準に基づき、厳格な学修成果の評価を行い、研究科の定める学位論文審査基準に基づく博士論文の審査及び試験を実施します。

学生の学修成果等をもとに、教育課程を検証します。

III. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医科学専攻博士後期課程では、次のような人を広く受け入れます。

1. 生命科学、機能再生医科学、保健学等の医科学に関連する領域において、学士課程及び博士前期課程相当の専門的知識・技能等を身につけている人
2. 医科学の各分野についての深い学識と分野横断的な広い視野を身につけることを志す人
3. 高い倫理観を身につけ、高度な専門性を要する分野で指導的役割を担い、人類、社会及び学術の発展に貢献することを志す人
4. 医科学に関連する地域や国際社会の問題に挑み、これらの問題に自立して対処するための、高度な課題発見・解決力及びコミュニケーション力を身につけようとする人

医科学専攻博士後期課程では、こうした入学者を受け入れるために、学力考査と人物評価により多角的かつ総合的な評価による選考を行います。

鳥取大学医学部ホームページURL（基本方針）

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/grad/gradpolicy/>

目 次

募 集 要 項

I. 専攻及び募集定員	1
II. 出願資格	1
III. 出願資格の認定	2
IV. 出願手続	2
V. 入試方法	4
VI. 合格発表	5
VII. 入学手続	5
VIII. その他	6

入 学 案 内

I. 目的	7
II. 修業年限	7
III. 指導担当部門及び主任指導教員	7
IV. 教育課程の編成及び養成する人材像	8
V. 履修方法及び学位授与	9
VI. 長期履修制度について	9
VII. 入学前教育及び補習	10
VIII. 入学料免除(徴収猶予)及び授業料免除について	10
IX. 国の教育ローン(日本政策金融公庫)	10
X. 提携教育ローン(オリエントコーポレーション)	10
XI. 奨学金制度について	10
米子地区案内図	11

**令和 8 年度鳥取大学大学院医学系研究科
医科学専攻博士後期課程 学生募集要項**

I. 専攻及び募集定員

専攻	領 域	部 門 名	募 集 定 員
医 学 科	基盤医科学	分子生物学，発生生物学，生体機構学	8 人 (社会人含む)
	病態医科学	実験病理学，免疫学，細胞・蛋白検査学	
	遺伝子再生医科学	染色体医工学，再生医療学，ゲノム医療学	
	検査医科学	病因・治療管理学，医療データ科学	
	脳とこころの医科学	神経科学，環境保健学，臨床心理学，認知症予防学	
	保健看護学	基礎看護学，成人・老人看護学，母性・小児家族看護学， 地域・精神看護学	
	保健公衆衛生学	母性・小児家族看護学，地域・精神看護学	

出願を希望する者は、出願前に志望部門の教授等と必ず連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合は、米子地区事務部学務課教育企画係にメールで照会してください。特に、医学・医療以外（工学系等）の背景をもつ方は、事前に希望する研究領域を同係へ伝達して志望部門を照会されることをお勧めします。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び令和 8 年 3 月 31 日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 修士の学位を有する者
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号参照）
7. 本研究科において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者

(注) 上記 6 に該当する者は、大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等で 2 年以上研究に従事した者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者

Ⅲ. 出願資格の認定

出願資格の2, 3, 6, 7のいずれかにより出願を希望する者は、下記書類を整え、事前に出願資格の認定を受けてから出願してください。

1. 提出書類

提出書類等	摘 要
(1) 出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙（様式A）
(2) 履 歴 書	本研究科所定の用紙（様式B）
(3) 証明できる書類	【出願資格2, 3】 ○修士の学位を取得したことがわかるもので、出身大学長（研究科長）が作成したもの 【出願資格6, 7】 ○大学の卒業証明書（本学医学部卒業者は不要） ○研究業績目録（様式3）（※） ※ 個別の事情等により「研究業績目録（様式3）」に十分な内容を記載できない場合は、その理由とともに出願を希望する者が修士の学位を有すると同等以上の学力があることを示す所属機関等からの推薦状（様式自由）を提出してください。
(4) 返信用封筒	定形型封筒（長形3号）に郵便切手410円分（速達料を含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

2. 提出期間

第1回 令和7年 6月 2日（月）から 6月 6日（金）まで（必着）

第2回 令和7年 9月 17日（水）から 9月 25日（木）まで（必着）

受付時間は、平日の9時から17時まで

3. 提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学米子地区事務部学務課教育企画係 TEL (0859) 38-7096

4. 結果の通知

審査の結果は、第1回については令和7年6月12日（木）頃、第2回については令和7年10月16日（木）頃、速達郵便で発送します。

なお、通知書が第1回については6月20日（金）、第2回については10月24日（金）を過ぎても到着しない場合は、米子地区事務部学務課教育企画係（TEL (0859) 38-7096）へお問い合わせください。

Ⅳ. 出願手続

1. 出願期間

第1回 令和7年 6月 26日（木）から 7月 3日（木）まで（必着）

第2回 令和7年 11月 4日（火）から 11月 10日（月）まで（必着）

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学米子地区事務部学務課教育企画係 TEL (0859) 38-7096

3. 出願方法

入学志願者は、次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学米子地区事務部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒（角型2号）の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受付けないことがありますので十分留意してください。

4. 出願書類等

出願書類等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票（様式1）に所要事項を記入の上、 写真 （縦4cm×横3cm上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。）を貼って提出してください。
(2) 写真票・受験票	本研究科所定の写真票・受験票（様式2）に所要事項を記入の上、 写真 （縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。）を貼って提出してください。
(3) 成績証明書 （博士前期（修士） 課程の成績証明書）	出身大学長（研究科長）が作成し、厳封したものを提出してください。 （ただし、偽造防止処理が施してあれば厳封不要です。）
(4) 博士前期（修士） 課程修了（見込） 証 明 書	1 通、厳封したものを提出してください。 （ただし、偽造防止処理が施してあれば厳封不要です。） （ただし、出願資格の認定時に提出した者は不要です。）
(5) 修士学位論文要旨 又は研究業績目録	修士の学位を有する者は、学位論文要旨又はその要旨の写。 それ以外の者は、本研究科所定の研究業績目録（様式3）を提出してください。（ただし、出願資格の認定時に提出した者は不要です。）
(6) 研究計画書	研究計画書（様式4）に記入の上、提出してください。
(7) 検 定 料	検定料 30,000円 次の（1）又は（2）のいずれかの方法で、検定料振込期間内に指定口座へ払い込みください。 【払込方法】 （1）ATM（現金自動預払機）を利用し、指定口座へ振込。 （2）個人が契約するインターネットバンキングを利用し、指定口座へ振込。 【検定料振込期間】 第1回 令和7年 6月24日（火）～ 7月 3日（木） 第2回 令和7年10月30日（木）～11月10日（月） 【指定口座】いずれかの口座へ払い込みください。 ・山陰合同銀行 鳥取営業部 普通 3908393 ・鳥取銀行 湖山支店 普通 0045136 【振込名義】 「20 + 受験者氏名」 例：20 トリダイタロウ ※必ず受験者氏名の前に「20」を入力してください。 ※手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。 ※振込金額や振込名義の間違いに十分注意してください。 振込完了後、検定料振込を証明する書類を提出してください。 *検定料振込を証明する書類 （1）の場合・・・振込手続後、ATMより発券される振込明細の写し （2）の場合・・・振込完了が確認できる画面（振込明細など）の写し ※（2）の印刷方法等については、インターネットバンキングを契約している金融機関に直接お問い合わせください。 なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合 b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記 a～c に該当する場合は、必ず米子地区事務部学務課教育企画係（TEL（0859）38-7096）へ連絡してください。

	(返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。)ただし、令和8年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了見込みの者で引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち、日本政府(文部科学省)国費留学生は検定料の支払いは不要です。
(8) 受験承認書	現在、官公庁、学校、会社、病院等に在職している者は、当該所属長の受験承認書(様式5)を提出してください。 なお、退職して入学する予定者は本人がその旨を記載した文書(署名、押印)をもって受験承認書に代えることができます。
(9) 住民票等 (外国人のみ)	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(10) 返信用封筒 (受験票送付用)	定形型封筒(長形3号)に郵便切手410円分(速達料を含む。)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

- (注) 1. 本学大学院医学系研究科博士前期(修士)課程修了(見込)者は、上記の(3)、(4)、(5)の出願書類は不要です。
2. (8)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学米子地区事務部総務課人事係(TEL (0859) 38-7046)に依頼してください。

※ 受験票は、第1回については7月7日(月)頃、第2回については11月12日(水)頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月14日(月)、第2回については11月19日(水)を過ぎても到着しない場合は、米子地区事務部学務課教育企画係(TEL (0859) 38-7096)へお問い合わせください。

V. 入試方法

合格判定は、試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお、試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 令和7年 8月 2日(土)

第2回 令和7年12月13日(土)

時 間	試 験 科 目		試 験 場
9：30～10：30	筆記試験	外国語（英語）	鳥取大学 医 学 部
10：50～	志望する研究分野に関する口述試験及び面接		

(1) 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。

(2) 所持品の取り扱い

ア 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- 黒鉛筆、鉛筆キャップ
- シャープペンシル
- プラスチック製の消しゴム
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)
- 時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可)
- 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)
- 外国語の試験については、辞書(和英、英和及び英英辞典のみ。)の持ち込みを許可します。(ただし、ステッドマン医学大辞典などの専門用語辞典の持ち込みはできません。電子辞書等の電子機器類も持ち込み不可です。)

イ 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

○定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
○携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っている不正行為となることがあります。

(3) 試験当日は9時10分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 令和7年 8月28日（木）

第2回 令和7年12月26日（金）

鳥取大学入学試験情報ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。（不合格者には通知しません。）

鳥取大学入学試験情報ホームページ URL: <https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

なお、電話による可否の照会には応じません。

VII. 入学手続

令和8年2月4日（水）から令和8年2月18日（水）まで（必着）

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、米子地区事務部学務課教育企画係（TEL（0859）38-7096）へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円（予定額）

①合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、令和8年3月に本学大学院博士前期（修士）課程を修了見込みの者で引き続き本課程に進学する者及び外国人志願者のうち、日本政府（文部科学省）国費留学生は不要です。

②振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

③既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

④入学料の免除（又は徴収猶予）を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円（予定額）〔年額 535,800円（予定額）〕

①納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府（文部科学省）国費留学生は不要です。

②本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。

③口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

④授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。

⑤前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が、前期の末日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくことになりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学米子地区事務部学務課教育企画係 TEL（0859）38-7096

VIII. その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
3. 身体に障がいのある方で、受験上及び修学上で配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

5. 成績の開示

大学院入学者選抜試験については、受験者の個人成績及び合格者の成績等（満点，最高点，最低点，平均点）は開示しません。

**鳥取大学大学院医学系研究科
医科学専攻博士後期課程 入学案内**

I. 目 的

医科学専攻博士後期課程は、医科学専攻の理念及び教育目標のもとに、真理の探究などの基礎医学の研究、診断・治療・予防の原理に関する基盤研究、健康維持増進の研究、トランスレーショナル医学の推進やイノベーションの創出を独立して行い、基礎医学教員や保健学教員、企業等の研究者、さらには将来の医科学関連の起業家等を育成することを目標とする。

II. 修業年限

博士後期課程 標準修業年限 3年

III. 指導担当部門及び主任指導教員

※募集時点での予定であり、教員の異動等により変更になる可能性があります。

領 域	指導担当部門	主任指導教員	担当する 特別研究
基盤医科学	分子生物学	初 沢 清 隆 教 授 堀 直 裕 准教授	統合医科学
	発生生物学	阿 部 玄 武 准教授	統合医科学
	生体機構学	森 徹 自 教 授 吉 村 武 教 授 上 田 悦 子 講 師	統合医科学
病態医科学	実験病理学	岡 田 太 教 授 尾 崎 充 彦 准教授	統合医科学
	免疫学	常世田 好 司 教 授 吉 野 三 也 准教授	統合医科学
	細胞・蛋白検査学	杉 原 誉 明 教 授 中 川 真由美 准教授	統合医科学
遺伝子再生医科学	染色体医工学	久 郷 裕 之 教 授 香 月 康 宏 教 授	統合医科学
	再生医療学	難 波 大 輔 教 授 土 谷 博 之 准教授	統合医科学
	ゲノム医療学	中 村 貴 史 教 授	統合医科学
検査医科学	病因・治療管理学	臼 井 真 一 教 授 加 藤 雅 彦 教 授 伊 藤 大 輔 教 授 佐 藤 研 吾 講 師 下 廣 寿 講 師	統合医科学
	医療データ科学	岩 田 浩 明 教 授 藤 原 伸 一 准教授	統合医科学

領 域	指導担当部門	主任指導教員	担当する 特別研究
脳とこころの医科学	神経科学	畠 義 郎 教 授	統合医科学
	環境保健学	河 月 稔 講 師 高 村 歩 美 講 師	統合医科学
	臨床心理学	井 上 雅 彦 教 授 竹 田 伸 也 教 授 細 田 珠 希 教 授	統合医科学
	認知症予防学（※１）	浦 上 克 哉 教 授	統合医科学
保健看護学	基礎看護学	深 田 美 香 教 授 宮 本 まゆみ 教 授	統合保健学
	成人・老人看護学	片 岡 英 幸 教 授 谷 村 千 華 教 授 中 條 雅 美 教 授 三 好 陽 子 教 授	統合保健学
	母性・小児家族看護学	鈴 木 康 江 教 授 藤 田 小矢香 教 授 山 崎 歩 教 授	統合保健学
	地域・精神看護学	仁 科 祐 子 教 授 松 浦 治 代 教 授 金 田 由紀子 准教授	統合保健学
保健公衆衛生学	母性・小児家族看護学	鈴 木 康 江 教 授 藤 田 小矢香 教 授 山 崎 歩 教 授	統合保健学
	地域・精神看護学	仁 科 祐 子 教 授 松 浦 治 代 教 授 金 田 由紀子 准教授	統合保健学

※１ 認知症予防学講座は、令和８年度までの期限付き寄付講座です（延長の可能性あり）。
本部門を志望する場合は浦上教授および河月講師に必ず事前に相談すること。

IV. 教育課程の編成及び養成する人材像

医科学専攻博士後期課程では、養成する基礎医学・保健学の教員として共通して身につけるべき先端的医学知識の修得，医科学研究における心と科学の両面の理解，教育・研究者のみならず起業人に必須の高い倫理観の涵養のための必修科目を基盤的教育科目として配置している。

専門科目には、医科学領域の高度かつ専門的な知識・技術の修得及び知財関連の実践的な教育科目として、スペシャリスト教育科目を設けている。

また、独立して教育・研究ができる能力を育成する目的でアドバンス教育科目を設けている。

医科学専攻博士後期課程では、これらのスペシャリスト教育科目，アドバンス教育科目，特別研究等の実践的教育（教育体験やビジネス関連教育も含む）や医学部附属病院新規医療研究推進センター（創薬・医療機器開発）の取り組みを通して、トランスレーショナルリサーチ（TR）を行える能力，イノベーション創出のできる能力，大学等の教員や研究者として独立できる能力，起業できる能力，等を持った以下の人材を養成する。

- (1) 創薬・医療機器・診断技術関連企業での研究・開発者
- (2) バイオサイエンス起業家
- (3) 基礎医学教育・研究者
- (4) 保健学教育・研究者

V. 履修方法及び学位授与

1. 本研究科に3年以上在学し、下記のとおり12単位以上を修得すること。

(1) 基盤的教育科目 3単位

(2) スペシャリスト教育科目 2単位以上

アドバンス教育科目 1単位以上 (2)の科目の合計 5単位以上

○博士「医科学」の学位を取得するには、スペシャリスト教育科目（医科学）から2単位以上、アドバンス教育科目（医科学）から1単位以上修得すること。

○博士「保健学」の学位を取得するには、スペシャリスト教育科目（保健学）から2単位以上、アドバンス教育科目（保健学）から1単位以上修得すること。

(3) 特別研究 4単位

○博士「医科学」の学位を取得するには、統合医科学特別研究4単位を取得すること。

○博士「保健学」の学位を取得するには、統合保健学特別研究4単位を修得すること。

2. 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

(1) 目的

通常の方法では、社会人の多くは学業に専念することは非常に困難であるところから、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を活用して、広く医療・保健分野等で活躍している社会人等に対して夜間、その他特定の時間・期間に授業または研究指導等を行う就学の機会を設けて、社会の要請と教育の機会の多様化に対応することを目的とします。

(2) 授業等の実施方法

特例による授業並びに研究指導の時間帯は、原則として平日は夜間（18：30～21：50）、土曜日（8：50～16：10）に実施します。

＊ 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

3. 上記1の条件を満たし、かつ、学位論文（博士）の審査及び最終試験に合格した者には、「博士（医科学）」又は「博士（保健学）」の学位を授与します。

○医科学専攻博士後期課程における、養成する人材像に応じた履修モデル及び授業科目等（履修方法及び修了要件）を鳥取大学医学部ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

鳥取大学医学部ホームページURL（履修モデル）

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/introduction/grad/3650/>



鳥取大学医学部ホームページURL（履修方法及び修了要件）

<https://www.med.tottori-u.ac.jp/graduate/3425/58/3300/>



VI. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（3年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の3年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うことになります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続き時に申請が必要です。

詳細については、米子地区事務部学務課教育企画係（TEL（0859）38-7096）までお問合せください。

Ⅶ. 入学前教育及び補習

本専攻博士後期課程の入学には、同博士前期課程で教授する基礎医学知識を身につけていることが必要です。博士後期課程の入学予定者で同知識を身につけていない者には、原則入学決定後に e-learning 教材を使用して入学前教育を実施します。また、入学後には補習を実施します。ただし、出願時に提出された履歴書と成績証明書に記載の既修得科目により、本専攻博士前期課程で教授する基礎医学知識と同等の知識を既に身につけていると判断される者についてはこの限りではありません。入学前教育及び補習の該当者には、合格通知書とともに詳細を案内します。

Ⅷ. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考のうえ、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

- (1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- (3) (2) に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

Ⅸ. 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

X. 提携教育ローン（オリエントコーポレーション）

入学料・授業料を対象にした(株)オリエントコーポレーション（オリコ）との提携教育ローンです。

オリコが学費負担者に代わって大学へ直接納入します。

毎月の返済については複数の返済方法があり、一部繰上返済も可能です。

詳細については、オリコ学費サポートデスク（0120-517-325）へお問い合わせください。

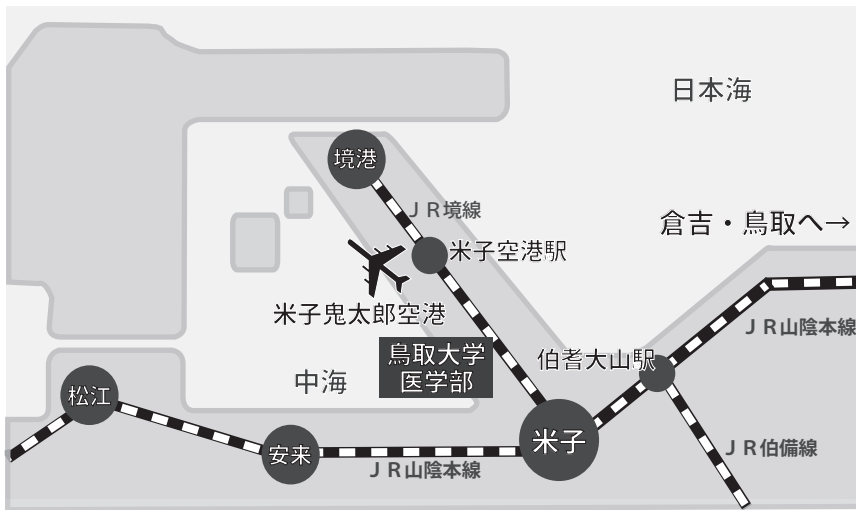
XI. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

また、本学では大学院博士課程（博士後期課程）に入学・進学する学生の研究意欲の向上及び優れた研究の推進に資するため、1・2年次学生を対象とした「エンカレッジ・ファンド」があり、研究科長から推薦された者に年額50万円を限度として奨学金が給付されます。

詳細については、米子地区事務部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

米子地区(医学部)案内図



- ① JR米子駅から徒歩約15分(1.0km)
- ② JR米子駅からタクシーで約5分
- ③ 米子鬼太郎空港から米子駅までバスで約30分
- ④ 米子鬼太郎空港からタクシーで約20分

※ 飛行機を利用の場合は、天候不順等による遅延・欠航にご留意願います。

※ 鳥取砂丘コナン空港ではありません。



アレスコ棟



医学部附属病院



総合教育棟



総合研究棟



生命科学棟

志 願 票

受験番号	＊				写真貼付欄 (上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものをのり付けしてください。) 縦4cm×横3cm
専攻	＊医科学専攻				
□志望部門の教員に出願や入学後の研究活動等について相談済みです。					
出願方法	□ 一般 □ 社会人 □ 外国人留学生				
ふりがな氏名		男 女	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (才)	
志望部門			希望する主任指導教員名		
取得志望学位	□ 医科学 □ 保健学				
出願資格	大学		学部	学科	
			年 月 卒業		
	大学大学院		研究科	専攻	
	課程		年 月 修了 修了見込		
国籍 (外国人のみ記入)					
ふりがな住所・連絡先		〒 ー メールアドレス TEL (携帯) () ー			
緊急時連絡先	ふりがな氏名 (又は勤務先)			続柄	
	ふりがな住所	〒 ー TEL () ー			

履 歴	
(学 歴 ・ 職 歴)	
年 月	高等学校卒業
年 月 ゝ 年 月	
年 月 ゝ 年 月	
年 月 ゝ 年 月	
年 月 ゝ 年 月	
年 月 ゝ 年 月	
年 月 ゝ 年 月	
年 月 ゝ 年 月	

備考 (1) ＊欄を除きすべて記入してください。
(2) 志望部門への事前相談，出願方法，取得志望の学位を選択し□に✓を付してください。

----- 切り離さないで提出してください -----

令和8年度 鳥取大学大学院
医学系研究科 博士後期課程

写 真 票	
専 攻	* 医科学専攻
受験番号	*
氏 名	

写真貼付欄

(上半身・無帽・正面
向きで、出願前
3か月以内に撮影
したものをのり付
けしてください。)

縦4cm×横3cm

|
| 切り離さないで提出してください |
|
|-----令和8年度 鳥取大学大学院
医学系研究科 博士後期課程

受 験 票	
専 攻	* 医科学専攻
受験番号	*
氏 名	

写真貼付欄

(上半身・無帽・正面
向きで、出願前
3か月以内に撮影
したものをのり付
けしてください。)

縦4cm×横3cm

(様式3)

研究業績目録

鳥取大学大学院医学系研究科

氏名		志望部門		受験番号	*
学術論文，研究発表・報告，特許 等 現在から順に発表年次を過去にさかのぼり，通し番号を付して記入してください。なお，学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は，掲載が決定しているものに限ります。 （例えば学術論文の場合，論文名，著者名，掲載誌名，巻，最初と最後の頁，発表年（西暦）について記入し，研究発表の場合は，発表題目，発表者名，発表学会名，発表年月を記入してください。なお，資格認定申請者名には二重下線を付してください。） （以上の各項目が記載されていれば，項目の順序を入れ替えても可。著者名（発表者名）が多数にわたる場合は，主な著者（発表者）を数名記入し以下を省略しても可（省略する場合，その員数と，掲載されている順番を○番目と記入）。）					

- (注) 1. 学術論文等は，別刷り又は写しを添付してください。なお，パソコンを使用する場合は，本様式に印刷又は本様式（A4版）にならい作成してください。
2. 研究業績のない場合は，「なし」と記入してください。
3. *印欄は記入しないでください。

研 究 計 画 書

氏 名		志望部門		受験番号	*
-----	--	------	--	------	---

*印欄は記入しないでください。
(8 0 0 字以内で記入してください。)

(様式5)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないでください。

受 験 承 認 書

年 月 日

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関名

所 属 長 名

公
印

下記の者が，鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻博士後期課程入学者選抜試験を受験することを承認します。

なお，同人が貴研究科に入学する場合は，在職のまま就学することを承認します。

記

所属部署

職 名

氏 名

※所属長（学長，学部長，病院長，代表取締役 等）の公印によるものを提出してください。

※入学後，職場が変更する者については，「なお，」以下を二重線で消してください。

(様式A)

令和8年度鳥取大学大学院医学系研究科
医科学専攻 博士後期課程
入学試験出願資格認定申請書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

申 請 者
氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

志望部門

別紙の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

記

認定を希望する区分・出願資格	☐ 一 般 ☐ 社会人 ☐ 外国人留学生	☐ 出願資格2 ☐ 出願資格3 ☐ 出願資格6 ☐ 出願資格7
----------------	---	--

※ 認定を希望する区分・出願資格の□にチェックを付けてください。

履 歴 書

(出願資格認定申請用)

鳥取大学大学院医学系研究科

医科学専攻博士後期課程		☐ 一般 ☐ 社会人 ☐ 外国人留学生 出願資格〔 〕 該当番号を記入			
氏 名 ふりがな		生年月日	昭和・平成 年 月 日生	性別	男・女
現住所	〒 ー Tel(携帯) E-mail				
学 歴 ※高等学校（同等の教育機関を含む）卒業以上について記入してください。					
年 月		高等学校卒業			
年 月～ 年 月					
年 月～ 年 月					
年 月～ 年 月					
職 歴					
年 月～ 年 月					
年 月～ 年 月					
年 月～ 年 月					
年 月～ 年 月					
年 月～ 年 月					
資 格 ・ 免 許 等					
年 月					
年 月					

1. 欄が不足する場合は、別紙を添付してください。
2. 該当する□にチェックをしてください。